

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワーク演習Ⅲ (2 単位)	3. 科目番号	SBMP3460 SSMP3160 SNMP3460 SCMP3460 SSMP3160 PSMP3460
2. 授業担当教員	茅野 由紀		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	ソーシャルワーク演習は、演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴと1年次から4年次まで断続的に学習するよう構成されている。これらの演習の主な学習方法は、グループ討議、文献調査、社会調査、情報収集、面接技法、ロールプレイ、モデリング等の多様な方法を用いて社会福祉実践の知識と技能を具体的に学習することを目的としている。 ソーシャルワーク演習Ⅲは「ソーシャルワークの実践」という位置づけとなり、これまでのソーシャルワーク演習Ⅰ及びソーシャルワーク演習Ⅱにおいて学習した内容を踏まえ、それらの知識と実践技術を、事例を通じてより実践的に活用し、総合的、また横断的な理解の促進を図る。		
8. 学習目標	ソーシャルワーク演習Ⅲが終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。 1) ソーシャルワークに関する事例を用いて、個人に対するソーシャルワーク実践に関し、必要な知識と技術を言語化することができる。 2) ソーシャルワークに関する事例を用いて、グループ（集団）を活用したソーシャルワーク実践に関し、必要な知識と技術を言語化することができる。 3) ソーシャルワークに関する事例を用いて、地域（コミュニティ）に対するソーシャルワーク実践に関し、必要な知識と技術を言語化することができる。 4) ソーシャルワークに関する事例を用いて、個人、集団（グループ）、地域（コミュニティ）を対象とした横断的・総合的な専門知識・技術の活用を理解することができる。		
9. アサシメント（宿題）及びレポート課題	課題1. 第2回～第4回の演習内容を踏まえて、事例とそれに対する設問、またディスカッションを通じて学習できたことをまとめなさい。 課題2. 第5回～第7回の演習内容を踏まえて、事例とそれに対する設問、またディスカッションを通じて学習できたことをまとめなさい。 課題3. 第8回～第10回の演習内容を踏まえて、事例とそれに対する設問、またディスカッションを通じて学習できたことをまとめなさい。 課題4. 第11回～第14回の演習内容を踏まえて、事例とそれに対する設問、またディスカッションを通じて学習できたことをまとめなさい。 各課題について、A4用紙2枚にまとめなさい。また、提出については、原則としてそれぞれの課題が提示されている次の回にて担当教員に提出すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 「はじめてのソーシャルワーク演習」編集委員会編『はじめてのソーシャルワーク演習』ミネルヴァ書房、2020.2 【参考書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職（共通+社会専門）』中央法規出版、2020.12 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法（共通）』中央法規出版、2020.12 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）』中央法規出版、2020.12		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ・4つの目標について理解し、説明することができたか。（知識・理解） ・4つの目標について思考し、考察を深めることができたか。（思考・判断・実践） ・4つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。（関心・意欲・態度） ○評定の方法 1. 演習への取り組み 40% 2. レポート（課題1～4） 60% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。 1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。 2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 3. 欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であってもF評価になるので注意すること。 5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。 教員は以下のことを実行する。 1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。 2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。 3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加（発言、発表等）できるよう双方向対話型の学習環境を作る。 4. 遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。		
13. オフィスアワー	授業中に通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			

講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション ソーシャルワーク演習Ⅱの振り返り	事前学習	シラバスを確認し、ソーシャルワーク演習Ⅲの学習内容について確認する。
		事後学習	ソーシャルワーク演習Ⅰ・ソーシャルワーク演習Ⅱでの学習を踏まえ、ソーシャルワーク演習Ⅲの自己の学習目標を明確にする。
第2回	事例1 ケースワークを題材とした事例の展開（1） ：児童家庭支援における展開（インテーク）	事前学習	事例1に目を通し、そのストーリーの理解を図るとともに、分からない用語等を確認する。
		事後学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み返し、関連する設問の解答についてその内容を確認する。
第3回	事例1 ケースワークを題材とした事例の展開（2） ：児童家庭支援における展開（アセスメント）	事前学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み、その内容に対する設問について確認し、自分なりの解答を考え、ディスカッションの準備をする。
		事後学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み返し、関連する設問の解答についてその内容を確認する。
第4回	事例1 ケースワークを題材とした事例の展開（3） ：児童家庭支援における展開（プランニング）	事前学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み、その内容に対する設問について確認し、自分なりの解答を考え、ディスカッションの準備をする。
		事後学習	課題1の作成
第5回	事例2 グループを用いた支援を題材とした事例の展開（1） ：高齢者支援における展開（準備期）	事前学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み、その内容に対する設問について確認し、自分なりの解答を考え、ディスカッションの準備をする。
		事後学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み返し、関連する設問の解答についてその内容を確認する。
第6回	事例2 グループを用いた支援を題材とした事例の展開（2） ：高齢者支援における展開（開始期）	事前学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み、その内容に対する設問について確認し、自分なりの解答を考え、ディスカッションの準備をする。
		事後学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み返し、関連する設問の解答についてその内容を確認する。
第7回	事例2 グループを用いた支援を題材とした事例の展開（3） ：高齢者支援における展開（作業期・終結期）	事前学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み、その内容に対する設問について確認し、自分なりの解答を考え、ディスカッションの準備をする。
		事後学習	課題2の作成
第8回	事例3 コミュニティを題材とした事例の展開（1） ：問題の発見とニーズの把握	事前学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み、その内容に対する設問について確認し、自分なりの解答を考え、ディスカッションの準備をする。
		事後学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み返し、関連する設問の解答についてその内容を確認する。
第9回	事例3 コミュニティを題材とした事例の展開（2） ：アセスメントの実施と地域ニーズの分析	事前学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み、その内容に対する設問について確認し、自分なりの解答を考え、ディスカッションの準備をする。
		事後学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み返し、関連する設問の解答についてその内容を確認する。
第10回	事例3 コミュニティを題材とした事例の展開（3） ：ネットワークとコーディネーション	事前学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み、その内容に対する設問について確認し、自分なりの解答を考え、ディスカッションの準備をする。
		事後学習	課題3の作成
第11回	事例4 総合的・包括的な事例の展開（1） ：多くの問題を抱える家族の把握	事前学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み、その内容に対する設問について確認し、自分なりの解答を考え、ディスカッションの準備をする。
		事後学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み返し、関連する設問の解答についてその内容を確認する。
第12回	事例4 総合的・包括的な事例の展開（2） ：本人主体のサポートシステムの形成	事前学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み、その内容に対する設問について確認し、自分なりの解答を考え、ディスカッションの準備をする。
		事後学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み返し、関連する設問の解答についてその内容を確認する。
第13回	事例4 総合的・包括的な事例の展開（3） ：「個」を支える「地域」の形成	事前学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み、その内容に対する設問について確認し、自分なりの解答を考え、ディスカッションの準備をする。
		事後学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み返し、関連する設問の解答についてその内容を確認する。
第14回	事例4 総合的・包括的な事例の展開（4） ：家族全体に対する支援プランの作成	事前学習	該当回に関係する部分のストーリーを読み、その内容に対する設問について確認し、自分なりの解答を考え、ディスカッションの準備をする。
		事後学習	課題4の作成
第15回	まとめ ：自己評価の言語化と課題の明確化を図る	事前学習	ソーシャルワーク演習Ⅲで使用したテキスト（プリント）の該当箇所を確認する。
		事後学習	ソーシャルワーク演習Ⅲで学習できたことをまとめるとともに、ソーシャルワーク演習Ⅳの実施に向けた自己課題を明確化する。